

# 令和7年度 柏陽高等学校 不祥事ゼロプログラム

柏陽高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり「不祥事ゼロプログラム」を定める。

## 1 実施責任者

「不祥事ゼロプログラム」の実施責任者は校長とし、副校長及び教頭がこれを補佐する。

## 2 目標及び行動計画

本校において、全職員が、公務員としての自覚や法令遵守意識、倫理観を醸成しつつ不祥事を絶対に起こさず、生徒・保護者はもとより、「県民の要請と期待に応えるためにはどうあるべきか」を考え、不祥事の防止に向けて積極的に行動していくことを目標とする。

原則として月1回、定例職員会議の後に不祥事防止研修会を開催する。そこで各グループ等より重点項目に関してのテーマを提起し、全職員で協議する。また、月1回以上、不祥事防止にかかる主要な項目について繰り返し周知徹底を図る。さらに、校長による不祥事防止メッセージを年数回全職員に周知し、不祥事ゼロを目指す。

このプログラム及び検証結果を本校ホームページに登載することとする。

### 【令和7年度の具体的な目標及び行動計画】

- ① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む） 担当：総務管理グループ  
ア 目標 勤務時間の内外を問わず、県民からの信頼を損なうことがないように、自らを律して行動する。  
イ 行動計画  
i 「神奈川県職員行動指針」に基づいて行動する。  
ii 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。
- ② 職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止 担当：生活支援グループ  
ア 目標 人権意識を磨き、良好な職場環境の確立・維持に努め、ハラスメントを根絶する。  
イ 行動計画  
i ハラスメントを未然に防止できるような職場環境の確立・維持に全職員で取り組む。  
ii 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。
- ③ 生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止 担当：生活支援グループ  
ア 目標 職員一人ひとりが人権意識を磨き、絶対に当該行為を起こさない。  
イ 行動計画  
i 職員・生徒に対して相談体制を整備し、迅速かつ組織的に不祥事を未然に防ぎ、根絶する。  
ii 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。  
iii 管理職は教科準備室等の利用状況を日常的に巡視して確認する。  
iv 生徒の指導は必ず複数人で対応する。
- ④ 体罰、不適切な指導の防止 担当：生活支援グループ  
ア 目標 常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさせない。  
イ 行動計画  
i 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。  
ii 生徒が気軽に相談しやすいように、相談窓口を設ける。
- ⑤ 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止 担当：入選委員会  
ア 目標 全員が当事者意識を持って業務にあたり、組織的な取組みで事故を未然に防ぐ。  
イ 行動計画  
i マニュアルを読み込んで、全体の流れを全職員が理解して業務に携わる。  
ii 複数による点検及び情報共有を確実に行う。  
iii 気になることは、担当者や管理職にすぐ伝えるなど報告・連絡・相談を徹底する。
- ⑥ 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止） 担当：教務・学習グループ  
ア 目標 個人情報の漏洩及び紛失を未然に防ぐ。  
イ 行動計画  
i 成績処理、調査書作成、進路指導、奨学金等の業務において、生徒の個人情報管理に十分配慮する。  
ii 個人情報持ち出す場合はルールを遵守できるように、情報セキュリティに関する意識啓発を図る。  
iii 情報機器の管理ルールを明確にし、紛失を防ぐ。  
iv 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。

- ⑦ 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守 担当：生活支援グループ  
 ア 目標 交通法規を遵守して交通事故を防ぐとともに、酒酔い・酒気帯び運転を根絶する。  
 イ 行動計画  
 i 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。
- ⑧ 業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制） 担当：総務管理グループ  
 ア 目標 教育公務員としての高い倫理観を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行する。  
 イ 行動計画  
 i 報告・連絡・相談を励行し、様々な課題を組織で対応する職場の雰囲気を醸成する。  
 ii ICTの利活用を推進し、情報の共有化、公務の効率化を図る。  
 iii 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。
- ⑨ 財務事務等の適正執行 担当：総務管理グループ  
 ア 目標 私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。  
 イ 行動計画  
 i 私費会計事務の執行についての留意事項を整理した資料を整備し、職員に周知する。  
 ii 職員啓発資料を配付するとともに、所属職員全員を対象にした不祥事防止研修会で意識啓発を図る。  
 iii 財務事務調査の指摘事項を共有化して、改善を図る。

#### ○ 不祥事防止研修会 年間計画

時期	研修会のテーマ	担 当
4 月	風通しの良い職場づくり	教頭
5 月	児童・生徒の個人情報の取扱い	教務・学習グループ
6 月	わいせつ・セクハラ行為の防止	生活支援グループ
7 月	定期試験・成績処理の事故防止	教務・学習グループ
8 月	体罰・不適切な指導の防止	生活支援グループ
9 月	服務規律の遵守	生活支援グループ
10 月	個人情報の適切な取扱い・情報セキュリティ	教務・学習グループ
11 月	適切な私費会計の取扱い	総務・管理グループ
12 月	飲酒運転の根絶	生活支援グループ
1 月	入学者選抜の事故防止	管理職・入選委員会
2 月	職場のハラスメントの防止	生活支援グループ
3 月	コンプライアンス意識の醸成	総務・管理グループ

### 3 検証

各研修における検証：

研修後に、必要に応じてアンケートを行う。

#### (1) 中間まとめと検証

2に規定する行動計画について、1月中に12月までのまとめを行い、未実施があった場合には、2月中に補完措置を実施する。また、各目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行うこととする。

#### (2) 最終検証

2に規定する行動計画について3月に実施状況を確認するとともに、各目標達成についての自己評価を行う。その結果、新たな目標設定（各目標の修正を含む）が必要な場合は、新たな目標設定を行った上で、次年度における柏陽高等学校「不祥事ゼロプログラム」を策定する。

### 4 実施結果

上記の検証を踏まえ、「実施結果」をとりまとめの上、教育局行政課等の求めに応じ、送付する。また、本校ホームページに登載する。

### 5 事務局

プログラムの策定および実行の具体的手続きについては、総務・管理グループが行う。